

# 近代の到来と アジア圏文学の展開



開催場所:大阪大学中之島センター セミナー室7C

開催日時:2024年2月16日(金) 13:00~17:00

形式:ハイブリッド形式

言語:日本語

問い合わせ先:木下実紀(大阪大学招聘研究員)

連絡先:[kinoshita.miki.c4d@osaka-u.ac.jp](mailto:kinoshita.miki.c4d@osaka-u.ac.jp)

Zoomでご参加の方は上記連絡先まで

# プログラム

13:00～13:10 司会・趣旨説明

13:10～13:40 鄧 羚（大阪大学大学院）

佐藤春夫「その日暮らしをする人」論——「ネクタイ」と「旅行」を手がかりに

13:40-14:10 小川 主税（大阪大学大学院）

「中国青年」たれという呪縛——近代中国文学のなかの男子学生像

14:10-14:20 休憩

14:20-14:50 木下 実紀（大阪大学招聘研究員）

イランにおける近代と翻訳——ジャマルザーデの「翻訳論」から

14:50-15:20 平 寛多朗（東京外国語大学非常勤講師）

境界を超える文学:中東の国家建設とアラビア語文学

15:20-15:30 休憩

15:30-15:45 コメント① 拓 徹（大阪大学人文学研究科助教・南アジア史専門）

15:45-16:00 コメント② 及川 茜（中国語圏文学研究者）

16:00-17:00 全体討論

主催:三島海雲記念財団 人文科学部門研究助成

イラン現代文学の黎明期における「翻案文学」:ジャマルザーデ再考  
(代表者:木下実紀)